



たくさんのお客で賑わったうまいもん祭

うまいもん祭開催

5月17、18日の2日間、「越前大仏と春のうまいもん祭」が越前大仏前町で開催されました。

両日は、天候にも恵まれ、越前大仏が拝観無料でもあり、市内外からおいしいものを求めて約2万3,000人の人出で賑わいました。

今年は、かつやま土曜夕市の木工品、地元の新鮮野菜、いわなの塩焼き、里芋でんがく、山菜などのほか、特に「手打ちそばの饗宴」として4つのそば会などが出店し、大変好評を得ていました。

ステージは、吹奏楽、吟舞、太鼓、ダンスなど盛りだくさんで、大ピンゴ大会では約350人も参加があり、とても盛り上がっていました。

イチゴおいしい!

5月26日、南保育園と平泉寺保育園の4・5歳児31人が、平泉寺町にある畑でイチゴ狩りを楽しみました。園児たちを招待した加藤敏彦さん(片瀬)の畑には、たくさんのイチゴが真っ赤に実っていて、「今年は、天候も良くて上出来。」とのこと。無農薬で育てられているため、園児たちはその場で採ってほおぼると、「甘くておいしい。」と、次々と口の中へ。大喜びで畑を駆け回り、イチゴ狩りを楽しみました。



「これおいしそう」と、真っ赤なイチゴに手を伸ばす園児

採ったイチゴは、来られなかったお友達へのお土産にしたり、ジャムにして食べるのことでした。

青空の下で、 グラウンド・ゴルフ大会

新緑も色鮮やかな5月17日、九頭竜川河川敷の弁天緑地で「ペアマッチ グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

当日は、すがすがしい青空のもと、市内や県内各地から約500人の参加があり、大変にぎやかな大会となりました。

各コースでは、日ごろの成果を発揮しようと真剣な眼差しでのプレーも随所に見られましたが、そういう中にもお互いに親睦・交流を図ろうと健闘をたたえ合うなど、和気あいあいとした雰囲気の中で1日プレーを楽しんでいました。



ホールポストめがけて、最後の1打!

勝山のまちを風になって

6月7日、8日の両日、ジャムリゾートとかつやま竜の森を拠点に、「サイクルフェスタ2008」が開催されました。

8日には、郡町をスタート地点としたヒルクライムに、県内外から約170人が参加。コースは、スキージャム勝山までのハーフ(10.5km)と、中の平コース(19.3km)があり、標高差は中の平までで約850mという急勾配。参加者は、息を切らしながら、万緑の映える坂道を駆けていきました。

また、同日の午後からは、「ぐるっと勝山うまいもんツーリング」が行われ、子どもから大人まで83人が参加して、太鼓演奏を聴いたり、手打ちそばやアイスクリームを食べたりしながら、市内を自転車ぐるっと巡りました。



勢いよくスタートを切るヒルクライムの参加者



色鮮やかな花を咲かせたサツキの盆栽

市の花「さつき展」

5月31日、6月1日の両日、「勝山さつき展」が教育会館で開催されました。

市の花であるサツキを多くの市民に育てていただこうと、毎年勝山さつき愛好会の皆さんが開催しています。

会場に展示されたサツキの盆栽は、どれも丹精込めて育てられたもので、色鮮やかな花と見事な枝ぶりが、訪れた人の目を引きつけていました。

サツキの盆栽のほかに、山野草の展示、サツキの育て方や盆栽作りの講習会、サツキと山野草の即売会も行われ、育て方のアドバイスを受けたりじっくり品定めをしたりする人も多くいました。

募金で被災者を支援

5月30日、勝山高校JRCの南部優賢さんと宮川真翠さんの2人が訪れ、先月に起きた中国・四川大地震での被災者を支援しようと、学校で集めた募金2万6000円あまりを日本赤十字社勝山市地区長である山岸市長に直接手渡しました。

また、市内3つの中学校では、ミャンマー・サイクロンの被災者にも対象を広げ、生徒会が中心となって街頭募金活動を2日間にわたって行いました。

さらに、成器南小学校や三室小学校では、児童会が中心となって募金を集め、日本赤十字社を通じて送っています。

心温まる善意は被災者の皆さんの心に必ず届きます。



山岸市長に募金を手渡す南部さんと宮川さん



山際に生えているフキを採る児童

フキ採り、がんばったよ!

5月26日に平泉寺小学校の児童46人が、昭和34年から続く恒例のフキ採りを行いました。

児童らは、学校周辺の田んぼの土手や山際に生えているフキをはさみで切って、腰にぶら下げたかごにいっぱい集めていました。

今年も学年ごとに収穫量の目標を立て、汗だくになりながら一生懸命に採った結果、合計で103kgもの収穫がありました。

採ったフキは、翌日に平泉寺町内2か所の市で5・6年生が販売し、その収益で学校で使うボールなどを購入するとのことでした。